富山県看護連盟・支部研修会

	内容
会の名称	平成２６年度　射水・高岡・氷見１・２支部合同研修会
研修の目的	１　看護連盟会員としての自覚を持ち、その役割を知る。 ２　会員相互の親睦を図り、活動の幅を広げる。 ３　心身のリフレッシュを図る。
開催日	平成２６年１０月４日（土）　９：００～１１：３０
会場	ふれあい福祉センター
主催	富山県看護連盟　射水・高岡・氷見１・２支部
対象者	看護職
出席者	５２名（役員１４名）
研修方法	講演（circled）　解説・説明　グループワーク　意見交換 提言　実技（circled）　他（　　　）
内容	１　講演「看護連盟の役割―続・基礎研修」 富山県看護連盟幹事・青年部推進委員長　宮本　輝美 ２　講演・実技「リフレッシュ体操」 高岡ふしき病院　健康運動指導士　和田　千恵子先生
特記事項	講演１について 事前にアンケート用紙に、看護連盟についての意見等の記入をお願いした。看護の質の向上、看護職の地位向上、有給・時間外の取得などについての意見あった。講演後、意見交換を行った。 講演２について ①お得なシェイプアップ②脳活性シナプロソジー③転倒予防 先生と共に実技を行った。普段の仕事の中でも有酸素運動を取り入れながら行うことが大切である。

提出日　１０月１０日

提出者　宮本輝美、田中美佳子

平成 26 年度 富山県看護連盟
射水、高岡・氷見1、2支部合同研修会アンケート

平成26年　10月　4日（土）

本日は、お忙しい中お疲れ様でした。今後の看護連盟支部活動の参考とさせていただきたいのでアンケートにご協力ください。　（該当する項目に○をつけてください。）

1．研修を受講されて看護連盟の役割について理解できましたか。
①理解できた（23）②まあまあ理解できた（13）③理解できなかた（0）

理由
・十分理解できた
・現場の小さな問題を取り上げ、より良い職場にしたい
・ベッドサイドの問題を解決するには連盟での政治活動が必要だと分かった
・連盟の活動内容や目的については理解できたが、課題については見えにくかった
・看護連盟の役割・活動内容が理解できた
・わかりやすかった
・連盟と政治の関わりが明確になった

2．研修を受講されて看護連盟会員として課題を得ることができましたか。
①得ることができた（18）②得られなかった（18）

理由
・会員を増やすにはやはり施設のトップの考え方
・連盟会員を増やすこと
　協会会員＝連盟会員にすればよい
・看護職全員が連盟の必要性を理解すること
・会員を増やすこと以外に課題がよくわからなかった
・もっと多くの職場の声を取り入れてもらえるために活動する必要があると分かった

3．リフレッシュ体操についてはどうでしたか。
①良かった（31）②まあまあ良かった（4）　③良くなかった（0）

理由
・楽しかった。次の機会も楽しみ
・楽しみながらできた。またどこかでやってみたい。
　家でも続けたいと思います
・リフレッシュできて楽しかった。
・脳も体もリフレッシュできた。
・久々に体を動かせて良かった
・和田先生の体操をほかの人にも勧めたい。

4．今後どのような内容の研修を希望されますか。
※開催日時や内容について要望があればお書き下さい。

・どのような活動をしているのか詳しく知りたい。
・個々の会員が果たすべき役割、求められることは何か、学べる研修があったら良い。
・衆議院，参議院議員ともっと交流ができる場を設けてほしい。
・政治のことをもっと詳しく知りたい。

5．ご要望やご意見があれば自由に記載してください。

・地方と都会の給料の格差を少なくしてほしい。
・ほかの病院の人と話したい。
・支部役員と参加者とでは看護連盟の必要性に対するギャップが感じられる。